

キャラクター名 プレイヤー名

メインクラス	メイジ	Lv.1:		レベル	8
サポートクラス	セージ	Lv.1:	セージ	性別	男
称号クラス				年齢	ヒューリンで10歳前後相当
種族	ヴァーナ			境遇	放浪者
出自(効果)	放浪者			目標	人探し

	筋力	器用	敏捷	知力	感知	精神	幸運
基本値	9	9	18	19	12	13	9
ボーナス	3	3	6	6	4	4	3
クラス修正	0	0	0	2	2	1	1
他修正							
能力値	3	3	6	8	6	5	4

HP	56
MP	97
フェイト	5

装備品		射程	命中	攻撃	回避	物防	魔防	行動	移動
右手									
左手									
頭部	ガラスの王冠					4			
胴部	大地のローブ					5			
補助									
装身具	タリスマン								
能力値			3	0	6	0	5	12	8
スキル	《ヴァーナ：狼族》+《スプリンター》							1	10
その他									
総計(右)			3	0					
総計(左)			3	0	6	9	5	13	18
総計(両)			3	0					m
ダイス数			2 d	2 d	2 d				

	能力値	スキル	その他	合計	ダイス数
トラップ探知	6			6	+ 2 d
トラップ解除	3			3	+ 2 d
危険感知	6			6	+ 2 d
エネミー識別	8			8	+ 3 d
アイテム鑑定	8			8	+ 2 d
魔術判定	8			8	+ 3 d
呪歌判定	5			5	+ d
錬金術判定	3			3	+ d

所持品	
ベルトポーチ	
バックパック	
ポーションホルダー	
>ハイMPポーション×5	
ハイMPポーション×7	

現在重量： 7
 最大重量： 16
 所持金： 205
 預金・借金：

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
オーバーパス	★	-	パッシヴ	-	自身	-		
効果：	狼族、移動力+5m、行動値に+1							
マジシャンズマイト	3	-	パッシヴ	-	自身	自動成功		
効果：	魔法攻撃のダメージに+[SLd]する。							
コンコードダンス	1		パッシブ					
効果：	エネミー識別のシーン化(PSGp.107)							
エンサイクロペディア	1		セット		自身	自動		
効果：	セットアップでエネミー識別を行える (PSGp.107)							
コンセントレイション	1		パッシブ		自身			
効果：	魔術判定に+1d (PSGp.80)							
ファイアボルト	1	6	メジャー					
効果：								
マジックブラスト	2	3	マイナー		自身	自動		
効果：	魔法攻撃の対象を範囲選択 (4体) に変更 (PSGp.81)							
マジックフォージ	3	3	DR直前				シーン1回	
効果：	DR+6d (PSGp.81)							
ファイアロード	4		常時					
効果：	火属性魔法攻撃力+SL×4							
リゼントメント	1		効果参照				シナリオ1回	
効果：	(PSGp.81)							
タクティクス	5	6						
効果：	PSGp.107							
エグザメイン	1							
効果：								
ジャッジメント	1							
効果：								
クイックサーチ	1	5						
効果：	PSGp.107							
モンスターロア	1							
効果：	エネミー識別に+1D							

セットアップでエネミー識別と味方の行動値の上昇を行って、先手を取ってボコボコにしてもらおう方向。戦闘前に《ジャッジメント》と、セットアップの《タクティクス》でそこそこ上げればそれなりに早くできる……ハズ。あとは燃やすだけ(自分は遅い)。

家族と共に自然の中を放浪する、例えるなら遊牧民のような生活をずっとしてきた。だが、ある日ひょんなことから家族と離れ離れになってしまった。それまで他の種族と、強いて言うなら身内(たぶん両親くらい)以外とほとんど交流がなかった。つまりアウトドア系ひきこもり。もとい現代人風に言うとアウトドア系コミュ障。行動力はあるハズなのに、対人スキルに乏しい。ただ、ビビりなので返って相手の嘘とかにはそこそこ敏感。要するにビビりで人見知り、でも人を信じたいから疑うとかそういう系。小動物系。狼だけど。冒険者になった理由はコミュ障を治すためと、家族を探すため。行く先々で探したり。あるいは、自分がそこそこ冒険者として名前が売れたら、気付けてもらえるのでは?という発想。だが、そのコミュ障やら自信のなさやらが災いしてか、彼個人が有名になる、ないし名前が売れるなんてことはまあそうそうあるわけがないのである。

